

■市民の皆様からいただいた「市長への手紙」に対する回答の内容をまとめました。

○対象となった市長への手紙 : 6件
 ○対象とならなかった市長への手紙 : 24件 (匿名、回答不要、市政に直接関係のない内容のもの。)

■対象となった市長への手紙の回答 (受付年月 令和4年10月分)

対応状況凡例 : ○=手紙の内容に応じて対応済
 △=手紙の内容を検討中
 ×=手紙の内容に対応できない

NO.	種別	件名	要旨	対応		所管課
				内容	状況	
1	メール	学校施設使用の件	<p>日頃のご公務に感謝申し上げます。</p> <p>さて、島田市議会だより NO.85 を拝見いたしました。9頁、石川議員の「家庭の日学校施設開放を求む」が目に留まりました。私の子供(小4)は、少年野球に入団しておりますが、家庭の日には、小学校のグラウンドが利用できず、遠征または、大井川河川敷での試合になります。遠征になることにより、集合時間が早くなり、弁当をつくる親の負担、子どもの睡眠時間は減ります。また、河川敷での試合となると、ボールが川に流れてしまう事、草むらに入ってしまう無くなってしまふ事が多々あります。ボールが流れてしまった場合の事故や、草むらでの毒蛇等の有害生物の被害等も考えられます。そして、簡易便所にためらい、近くのコンビニ、スーパーまで用を足しに行く方(特に女性)が多くおります。そもそも家庭の日とは何かと「家庭の日 静岡県」と検索したところ、静岡県のリーフレットが出てきました。そこには、「家族と一緒に過ごしコミュニケーションを深める日のこと。それぞれの家族に合った家庭の日を自由に考え、過ごし方を工夫してください」とありました。活動を休んで家族で遊びに行く家庭もあれば、試合を楽しみにしている子ども、それを観に行くことを楽しみにしている家庭もあります。基本的に少年野球は休みになりませんし、好きでやっております。我が家も毎週末の少年野球に家族での参加を楽しみにしております。平日は仕事で家族と一緒に夕食を食べることがない私にとって、休日に一緒に少年野球へ行って、夕食時にその日の話をするのが、</p>	<p>「家庭の日」運動は、昭和30年に鹿児島県の小さな町で生まれました。家庭の中で家族の絆が薄れつつあることから、「家庭を大切に」という願いと、当時ほとんど休みのなかった農業従事者のために「農休日」という考えが一緒になったものです。</p> <p>こうした動きが全国に広まり、静岡県でも「家庭の日」を毎月第3日曜日に定めて実践していましたが、平成23年に家族のライフスタイルや意識の変化、就労形態の多様化を受けて、各家庭で状況に応じて独自に設けるものとなりました。</p> <p>この変更之际し、本市では、市民の皆さんに意識をもって取り組んでいただくために、具体的な日を設定の方がわかりやすいと考え、引き続き、従来どおりの第3日曜日を「家庭の日」とすることとし、現在に至っています。</p> <p>本市としては、青少年に関する様々な問題の要因が家庭環境にあるとの認識から、「家庭の日」を、例えばキャンプや買い物などを通して家族と一緒に過ごし、コミュニケーションを深めることで家庭を振り返る機会とし、各家庭でそれぞれにあった過ごし方を楽しんでいただきたいと思います。</p> <p>〇〇様から頂いた第3日曜日における学校施設の開放についての御要望につきましては、10月7日に開催された総合教育会議において、改めて「家庭の日」の意義や取り組みなどについて協議を行い、これまでどおり実施していくことを確認したところで、学校施設・社会体育施設利用申請書を出していただくことで利用可能としておりますので、これまでどおり柔軟に対応してまいります。</p> <p>過去においては、スポーツ少年団等の活動が過熱</p>	×	<p>社会教育課 (36-7963) スポーツ振興課 (36-7223)</p>

			<p>「我が家の家庭の日」だと思っており、第三日曜日が家庭の日だと思っておりませんし、各家庭で家庭の日を設定するものだと思っております。第三日曜日に他市町の小学校へ遠征に行くことがあり、前々から島田市の小学校が利用できないことに疑問を感じておりました。仮に第三日曜日に学校施設を開放したとしても、島田市にとって負担となることは無いと思います。家庭の日の学校施設開放をお願い申し上げます。</p> <p>これからもお身体に気を付けて、ご活躍されますことを願っております。以上</p> <p>今回「家庭の日 島田市」と検索してみましたが、島田市ホームページからは特に情報を知ることが出来ませんでした。一問一答に「家庭の日の形骸化」とありますが、まず家庭の日を知らない方が多いのではと思いました。各家庭環境もありますので第三日曜日に拘らず、「一ヶ月に一日家庭の日を設けましょう」ということが現実的だと思いました。</p>	<p>し、小学生でも夜まで練習するといった時代がありました。今はもうそのように過度な活動はしていないという意見もいただきましたが、指導者の働き方改革という観点からも休日は必要であり、第3日曜日はできるだけ家族で過ごす日としてご理解いただきたいと思えます。</p> <p>今後は「家庭の日」について市民の皆さんに、一層の周知を図ってまいります。</p>		
2	メール	島田駅のガラスラッピングについて	<p>島田駅の窓ガラスの絵のラッピングをなくして欲しいです。電車好きの息子が電車が見えないと泣きます。黄色いフィルムを取るか、もう少し高い位置に設置してくださると助かります。よろしくお願いします。</p>	<p>島田駅南北自由通路のガラスへのラッピングは、島田市のシティプロモーション「島田市緑茶化計画」を広く知っていただくため、駅のガラスを活用し、「地球上でもっとも緑茶を愛する街」を表現しています。</p> <p>全体のデザインの中で、黄緑色のフィルムは「地球上でもっとも緑茶を愛する街」らしく、大井川が緑茶で染まっている様子を表しています。送迎を待つ方や、通路上から電車を眺める方がいるため、透過性のあるフィルムを使用してラッピングを行っております。</p> <p>一部のフィルムを剥がすことや形状を変えることは、全体で構成しているイメージが失われるため、直ちに実施することは困難です。</p> <p>なお、使用しているフィルムの特性上、一定期間で補修等が必要となります。今後、補修等を行う場合には、いただいたご意見を参考にさせていただきます</p>	×	広報課 (36-7355)
3	メール	島田市の災害対応について	<p>9月23日未明から24日早朝にかけての台風15号の緊急対応について市の対応についてですが、各地区の被害状況の把握はどのように指示を出しているのか、各地区に職員が在住している場合に</p>	<p>まずは、台風15号で被害を受けられました方々に心よりお見舞い申し上げます。</p> <p>また、自治会、自主防災会をはじめ地域の皆様やボランティア、民間事業者の皆様など復旧作業に御</p>	○	危機管理課 (36-7143)

			<p>職員に対して各家の被害状況、地区の状況把握を依頼したのか、自治会に対して報告を迅速に求めたのか、市役所の夜間緊急連絡先が警備室の人が対応するが 23 日未明に川根の方が連絡した際にあの大雨で土砂災害の危険が切迫している中で他人事のように対応されたという声も聞いていますが、市としての災害対応の遅さや各自治会等への緊急指示や判断を危機管理課等への問合せが出来なかった点についてどのように考えているのか、国道 4 7 3 号の旧福用産業の道路復旧工事をどのように進めるのか県、国に対して早急の対応依頼をしているのか、もっと市民の目線に立って情報提供をしてもいいと思いますが、回答をお願いします、市長は北五和地区の被害状況を見にこられなかったのはなぜですか？</p>	<p>尽力いただき誠にありがとうございます。</p> <p>さて、市では、台風15号の接近に伴い、9月23日の17時から初期水防体制をとり、22時には災害対策本部を設置し、職員や消防団によるパトロールを強化するとともに情報収集や被害対応に努めておりました。また、すべての自治会長には、大雨警報の発令をメールと電話にて連絡し、地域の被害状況等について随時報告を求めておりました。市民をはじめ各方面からの情報に対しましては、適宜職員を投入し、被害現場の確認と応急対応にあたっております。</p> <p>市としては、問い合わせや災害対応においては、適切であったと考えております。</p> <p>国道473号に関しましては、現時点では、復旧のめどが立っておりませんが、国や県に早期復旧を強く要請しております。</p> <p>被災現場の状況視察につきましては、私自身、被災直後から可能な限り現場に出向き、被災状況等の確認に努めてまいりましたが、すべての被災現場を直接確認することが難しいことも、何とぞ御理解いただきたいと存じます。</p> <p>災害発生からひと月が経過する中で、特に福用、高熊地区にお住まいの〇〇様をはじめとした皆様には、国道473号や大井川鐵道が復旧するまでの間、御不便をおかけしますが、すべての市民が一刻も早く日常生活を取り戻せるよう被災者支援、災害復旧に取り組んでまいりますので、御理解いただきますようお願い申し上げます。</p>		
4	メール	学校の支援員の増員のお願い	<p>娘が小学校の支援級に通っています。学校、特に支援級に配属されている支援員の増員をお願いしたく、メールをさせていただきます。</p> <p>娘は、疲れやすい特性があり、毎日のように授業中寝てしまい、寝ないと疲れて動けなくなってしまうので、担任の先生には、眠い時には可能な限り寝かせてもらうよう、お願いしています。娘が教室内で寝ている時に、先生が他の子供たちを連れて教室を移動しなければならない場合、娘一人を教室に置いていくわけにはいかず、支援員の方がいれば見てもらえるのですが、学校に配置されている支援員の人数が少なく、また支援員が不在の時間帯もあり、困っております。</p>	<p>市内小中学校の学校教育支援員(以下、「支援員」と申します)は、市では学校規模等に応じて、各校に配置されており、県の支援員については特別支援学級では知的学級に児童生徒が8名在籍している学級、自閉情緒学級に児童生徒7名在籍している学級に配置されています。</p> <p>今年度においては、市内小学校の通級指導教室に通っている児童約100名は、通常学級に在籍しています。また、市内小学校の特別支援学級は27学級、在籍者数は156名となっており、今後も特別な支援を要する児童は増加することが予想されます。</p> <p>支援員は、このような特別な支援を要する児童に対する支援を行っていますが、障害や特性を理解し</p>	×	学校教育課 (36-7956)

			<p>先生からお聞きしたところ、県と市からそれぞれ支援員が配置されていますが、支援級には娘以外にも様々な支援が必要な子供たちがいる上に、普通級にも支援が必要な子がいて、そちらのサポートもしなければならないのに対し、配置されている支援員の人数が足りていないようでした。先生方に余裕がなく、安全な教室運営が可能なのだろうか?と思いました。</p> <p>他の市町の保護者から状況を聞くと、島田市に比べて、学校に配置されている支援員の人数が多く、子供たちが安心・安全な環境で学校生活を過ごしている様子です。</p> <p>正常に教室運営ができ、余裕のある環境で子供たちが学べるよう、支援員の人数を増やしていただく、またはボランティアの方を採用していただく等、ご検討いただけませんか。よろしくをお願いします。</p>	<p>た支援員を、支援を必要とする児童全てに配置することは大変困難な状況にあります。</p> <p>市では、県の支援員の増員や特別支援学級の1学級当たりの児童生徒数の見直しを、県や国に継続して要望していますが、思うように改善されていません。また、ボランティアの採用につきましても、雇用上の様々な課題があり、実現が困難な状況です。</p> <p>このような現状を踏まえ、市では、子供たちが安心して学習や生活ができる環境を作り、支援員の人員配置を喫緊の課題として捉えるとともに、保護者の皆様と個別に相談させていただきながら様々な支援の在り方について考えてまいります。その上でそれぞれのお子さんの適切な学びの場について、発達状況に応じて御相談させていただきたいと考えておりますので、何卒、御理解、御協力いただけますようお願いいたします。</p> <p>今後も、一人一人の教育的ニーズに寄り添いながら、適切な教育支援ができるよう努めてまいります。</p>		
5	メール	台風15号の被害を受けた大井川鉄道への支援について	<p>台風15号による被害状況は新聞・報道で情報を入手していて被害にあわれた方々にはお見舞い申し上げます。</p> <p>島田市においても床上・床下浸水の被害受けられた方がいると聞いています。</p> <p>また、土砂崩れにより交通が遮断され、生活に不便をきたしているところもあります。</p> <p>地元企業の大井川鉄道も神尾駅～福用駅で大規模な土砂崩落や複数個所での土砂流入や倒木などの被害が発生。当面の間、列車での運転を見合わせ、バスによる代行運転を実施しています。(碎石場土砂は行政代執行で復旧工事中)</p> <p>10月26日の静岡新聞に大井川鉄道社長がインタビューに応え、金谷～千頭間の全線復旧のめどが立たず、沿線自治体などに公的支援を求めているとありました。</p> <p>大鉄は、島田市にとって生活の足であり重要な観光資源であると思います。特に観光シーズンを迎え稼ぎ時となる今、一刻も早く何らかの支援を行うことで早期再開を可能とし、企業、島田市双方にプラスになるよう行動を起こしていただくよう提案します。</p>	<p>大井川鉄道株式会社への支援については、台風15号による災害が発生する以前から関係機関により意見交換しておりましたが、災害が発生したことで、より状況が悪化したものと認識しています。</p> <p>大井川本線については、金谷～家山間は本年12月の復旧を見込み作業中ですが、家山～千頭間の運行再開に目途が立たない状況と報告を受けています。</p> <p>現在、具体的な支援要望の内容について確認するなどの作業をしており、島田市としてどのような支援ができるか検討している段階です。</p> <p>具体的な支援措置についてはまだお知らせすることはできませんが、大井川鉄道株式会社へ必要な支援を行うべく関係機関と話し合いを続け、しかるべき時点で公表いたします。</p>	△	生活安心課 (36-7144)

6	メール	川ざらいの専門業者による対応の検討	<p>毎年 4 月に市民がボランティアで川ざらいを行っているが、高齢化が進み対応が難しくなっている。大きな負担となっており、中には腰を痛めて後遺症に悩んでいる人もいる。かくいう私もその 1 人。静岡市などでは既に専門の業者に依頼していると聞いている。島田市でも同様に業者に依頼することを検討願いたい。</p>	<p>市内一斉美化活動（川ざらい）は、農業用水の確保とともに生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的に 40 年以上継続している事業であります。</p> <p>この事業は、自治会・町内会組織が主体となって取り組んでいただいている活動であり、市は地域の活動（協力）に対して、必要資材（土のう袋、石灰）の配布、土のう置場の確保及び運搬、地域が借り上げた車両に対する補助金の交付により支援しており、市民の皆様と行政との協働のまちづくりとして、大きな役割を果たしていると考えております。</p> <p>しかし、〇〇様の御指摘のとおり、高齢化社会を迎え、そのあり方についても過渡期にあると認識しております。</p> <p>市といたしましては、皆様にすべてを実施していただくということではなく、安全な作業に努めていただき、^{あんきよ}暗渠等の危険な場所の作業や大掛かりな改修工事はすぐやる課へ御相談いただくようお願いしております。</p> <p>市民の皆様に御苦勞をお掛けしている事業であるとは思いますが、現在のところは、作業を委託して実施することは考えておりません。</p> <p>なお、静岡市に確認しましたところ、島田市と同様に土砂の運搬と処分は業者に委託しておりますが、川ざらいを業者に依頼した実績はありませんと回答を得ましたことを申し添えます。</p> <p>今後は、市民の皆様の御意見も踏まえ、市内一斉美化活動（川ざらい）の方向性について、自治会・町内会と協議していきたいと考えております。</p>	△	環境課 (35-3744)
---	-----	-------------------	--	---	---	------------------